

# DRAWMER

モニタープリアンプ

## MC1.1

### 取扱説明書

Ver. 1.0



## 安全上のご注意

正しく安全にお使いになるため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。  
また、お読みになった後も、いつでも手に取れる場所に保管してください。

1. 取扱説明書に記載されている電圧の電源コンセントに差し込んでください。
2. 液体の入った容器や、小さな金属物を機器の上に置かないでください。液体や金属が機器内に入り、火災や感電の原因となることがあります。
3. 電源コードの上に重量物（機器を含む）を置かないでください。電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。
4. 電源コードをヒーターの近くに置かないでください。融解して火災の原因になることがあります。
5. 電源コードを傷つけたり、曲げたり、ねじったり、伸ばしたり、加熱したりしないでください。電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。
6. 濡れた手で電源プラグを触らないでください。感電の恐れがあります。
7. 機器に水を入れたり、湿気の多い環境で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
8. 次のような場所や環境で使用しないでください。
  - ・ 振動台や傾斜面のような不安定な所
  - ・ 高湿度にさらされたり、ほこりがたまる所
  - ・ 密閉された車内や直射日光が当たる所
  - ・ 蒸気、ストーブ、ボイラー、加湿器などの近く
9. 機器のカバーを開けないでください。感電の恐れがあります。修理やメンテナンスが必要だと思われる場合は、販売店にご相談ください。
10. 本製品を改造したり、変更しないでください。異常や火災、感電の原因となります。
11. 落雷が発生した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
12. アンプの出力ソケットにスピーカーを接続する際には、専用のスピーカーケーブルを使用してください。
13. 長期間ご使用にならない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
14. 電源コードが破損した場合（切断されていたり、線がむき出しになっているなど）は、販売店から交換品を入手してください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因となります。
15. 万一、機器が破損したり、高所から落下したりした場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、販売店にご連絡ください。火災や感電の原因となります。
16. 煙や匂いなどの異常があった場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、販売店にご連絡ください。火災や感電の原因となります。

## はじめに

MC1.1は、MC2.1の持つクリアで自然なサウンドはそのままに、簡単な音楽制作ブースやシンプルなスピーカー構成のホームオーディオに最適なモニタープリアンプです。ヘッドホンモニター出力を装備し、プロのアーティストやエンジニアだけでなく、すべての音楽愛好家の為に設計されています。MP3プレーヤー、iPod、スマートフォンなどの音楽再生機器を接続できるだけでなく、内蔵のRIAAフォノステージに、ターンテーブルとアクティブスピーカー（ヘッドホン）を接続するだけで、レコードの持つ温かみのあるサウンドを簡単に楽しむことができます。

## 主な特徴

- 低ノイズ、透明性の高いサウンド回路設計
- トロイダル・トランスと電圧選択スイッチを内蔵したリニア電源を採用
- プロ品質のバランスXLR、3.5mmステレオミニ入力を装備
- LINEとPHONO（RIAA）の切り替えが可能なRCA入力を装備
- バランスXLRとRCA、2つの出力段を切り替え可能
- バランス出力と同時にモノラル・サブウーファーに対して出力が可能
- ヘッドホン部に専用のアンプとボリュームコントロールを搭載
- フォノステージを内蔵しているため、ターンテーブルを直接接続可能
- 左右チャンネルのマッチングに優れたカスタム・クアッド・ポットを採用
- LINE出力にタイムディレイ・リレーを搭載し、電源のON/OFF時のノイズを低減
- 堅牢なスチール製シャーシとスタイリッシュな黒艶消しアルミニウム製カバーを採用
- ラックマウント可能（オプションの2Uマウントキットを使用）

## 操作について

本製品は、正確な信号経路設計と、直感的に操作ができるレイアウトを採用しています。フロントパネルには、メインライン出力とヘッドホン出力コントロールがあり、両ボリュームとも並列配置されたカスタム・クアッド・ポットによってスムーズな動作を実現しています。また、RIAAターンテーブル入力やMP3プレーヤー入力など、入力ソースごとに個別のスイッチがあり、出力部にはバランス出力とRCA出力に加え、モノ/サブコネクターが装備されています。

### フロントパネル



## 操作について

### ① SOURCE

音源としてBALANCED、PHONO、AUXを選択できます（⑥参照）

- 各スイッチは、個別に、または同時に、任意の組み合わせでON/OFFできます
- 同時にONした場合、それぞれの信号はミックスされて1つのステレオ信号となります
- 各入力に対して個別のレベル調整機能を備えていないため、レベルマッチングを行う必要があります

### ② OUTPUT

スピーカー出力A（バランスXLR+追加モノラル出力）またはB（アンバランスRCA）を選択可能（⑦参照）

- 各スイッチは、個別または同時に任意の組み合わせでONにできるため、様々なモニターセットアップのA/B比較に使用できます。（AをONにした状態でBをONにしたり、Bをもう一度押してOFFにできます）
- サブウーファーを出力Aに接続して低域を出力、高域ドライバーを出力Bに接続して高域を出力できます
- Aを常にアクティブにしてBスイッチをOn\Offし、モニターセットのA/B比較（この場合は+Sub）が可能

### ③ VOLUME

モニター A（+モノラル）とBの音量を同時に調整します。（ヘッドホン音量には影響ありません）

- ボリュームノブの回路設計には、並列配置されたカスタム・クアッドポットを採用し、優れたチャンネルマッチングと滑らかなフィーリングを実現。Off（-無限大）から+6dBのゲインを確保しています
- 回路がアクティブのため、減衰しかできないデバイスとは異なり、信号レベルを上げることができます。ミックス内の微妙な問題（例えば、低レベルでのノイズや不要なハーモニクスなど）をより明確にし、特に静かな曲の中で簡単に修正することが可能です

#### 注意

1. 電源を切る前に、ボリュームコントロールを最小にしてください。  
（電源を入れた際、急に音が出てスピーカーや聴力にダメージを与える場合があります）
2. つまみはリミットを超えて無理に回しすぎないように気をつけてください。  
（内部ポテンショメーターにダメージを与える場合があります）

### ④ ヘッドホンボリューム / 出力

専用の出力（TRSフォン端子）を装備。メインから独立したアンプとレベルコントロールがあります

- ヘッドホンノブの回路設計には、メインと同様、並列配置されたカスタム・クアッド・ポットを採用し、優れたチャンネル・マッチングと滑らかな回転を実現しています

#### 注意

1. 電源をON/OFFする際は、端子からヘッドホンケーブルを抜いておくことをお勧めします。  
また、ヘッドホンのレベルを下げてからジャックを差し込み、希望するリスニングレベルまで上げてください。（聴覚とヘッドホン・ドライバーの両方を保護できます）
2. プロ用ヘッドホンのために設計された高品質な回路を使用しているため、一般的なイヤホンやスマートフォン用など、民生品向けのヘッドホンの使用には注意が必要です。

### ⑤ 電源LEDランプ

本機の電源が入っていることを示します

## バックパネル



### ⑥ INPUTS

BALANCED: Neutrik XLR / TRSフォーン・コンボ

PHONO: RCA端子x2とアース端子（スイッチによりLINEとRIAAの切り替えが可能）

AUX: 3.5mmステレオミニ端子（iPod、MP3プレイヤー、スマートフォンなどを接続）

※各入力は、Sourceスイッチ(①)を使用して切り替えます

LINE: 各種メディアプレーヤー、CDプレーヤー、チューナー等を接続します

RIAA: ムービングマグネット（MM）または「高出力」ムービングコイル（MC）タイプのカートリッジを装着したターンテーブルを接続できます

#### 注意

1. ターンテーブルにアース線がある場合は、アース端子に接続してください。ただし、ターンテーブルによっては、アース線を接続するとハムノイズが発生する場合があります。その場合はアース線を取り外してください。
2. 「低出力」ムービングコイル・カートリッジは直接接続できません。別途MCフォノプリアンプが必要です。フォノコネクタに接続し、スイッチは「LINE」にセットしてください。この場合、ターンテーブルのアース線はプリアンプに接続する必要があります。
3. RIAAに設定した状態で、標準的なラインレベルの音源をPHONO入力で再生しないでください。本製品やアンプ、スピーカーに余分なゲインがかかり、故障の原因となります。
4. 本製品には入力レベル調整がないため、音源側でレベルを調整する必要があります。

## 操作について

### ⑦ OUTPUT

A: バランスL / Rスピーカー出力 (3ピンXLR)

B: アンバランスL / Rスピーカー出力 (RCA)

A Mono / Sub: 専用モノラルスピーカー / サブウーファー出力 (3ピンXLR)

- A Mono/Sub 出力はステレオ信号をモノラルにしたものです。信号の全周波数帯域が含まれていることに注意してください。ローパスフィルタリング、ボリュームレベルなどは、サブウーファー本体で行う必要があります
- 前面パネルのOUTPUTスイッチ②によりA/Bを切り替えられます

### ⑧ AC POWER SUPPLY

本製品はトロイダル・リニア電源を内蔵し、低ノイズと高いヘッドルームを実現しています

- 背面には、ヒューズを内蔵した主電源IECコネクターがあります
- 電源スイッチはIECコネクターの上にあります、ユニットのON/OFFを切り替えるのに使用します
- 電源投入時および電源切断時にノイズが発生しないように、タイマー式のリレー保護回路を搭載しています

## 電源の接続について

本製品には、電源ケーブルが付属しています。安全のため、ケーブルのアースを必ず接続してください。また、ケーブルに手を加えたり、改造したりしないでください。

電源ソケットには、ヒューズケースが内蔵されていて、主電源電圧と同じ仕様のヒューズが入っています。交換の時は、電源コードを外した状態で引き出してください。

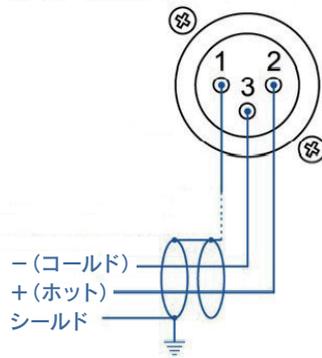
### 注意

通常の操作では、ヒューズが切れることはありません。ヒューズが切れた場合は、故障が発生している可能性があるため、必ず販売代理店に連絡してください。

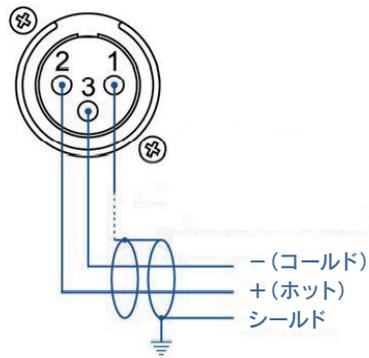


## 接続コネクタについて

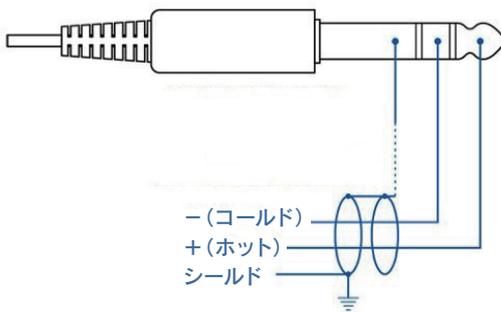
XLR出力（オス）



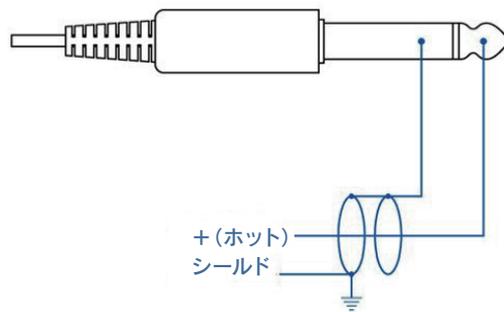
XLR出力（メス）



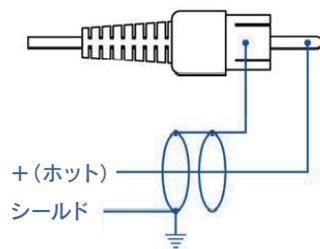
TRSフォン・バランス（モノラル）



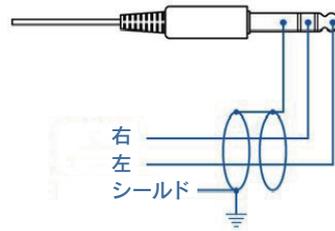
TRSフォン・アンバランス（モノラル）



RCA（フォノ）



3.5mmステレオミニ



### 電波干渉について

- テレビやラジオの近くなどで使用する場合は、バランス接続を使用してください
- 信号ケーブルのシールドは、XLRコネクタのシャーシに接続し、ピン1に接続しないようにしてください
- 本製品はEMC規格に適合しています

### グラウンドループが発生した場合

主電源のアースを切らずに、出力と「パッチベイ」をつなぐケーブルの片方の端のシールドを外してください。このような措置が必要な場合は、バランス接続を推奨します。

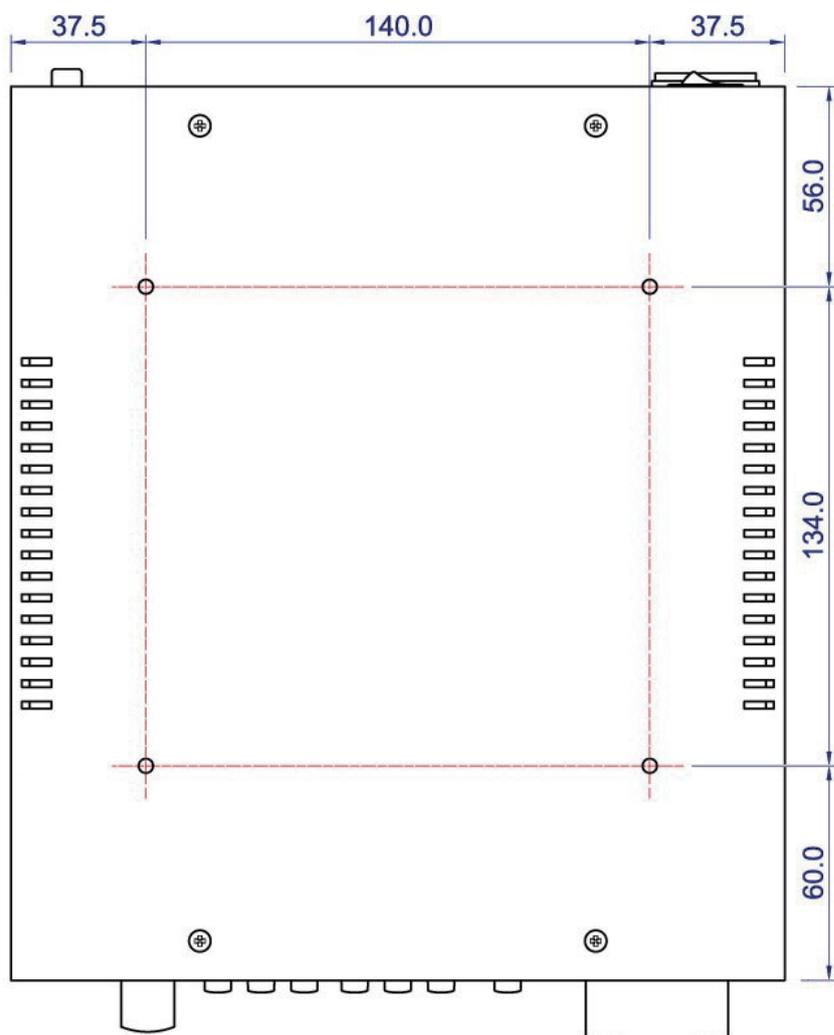
## 取り付け方法

- 本製品は自立型のデスクトップ・ユニットとして使用できます
- フロントパネルに各種コントロールとヘッドホン端子、リアにその他の入出力端子を備えています
- 複数のユニットをデスク上に積み重ねて設置することも可能
- 19インチラック（2Uマウントキットを使用）に取り付けすることもできます

### 注意

ラックマウントする際は、熱を大量に放射するパワーアンプやパワーサプライの真上に本製品を取り付けないでください。

### パネルにネジ止めする場合

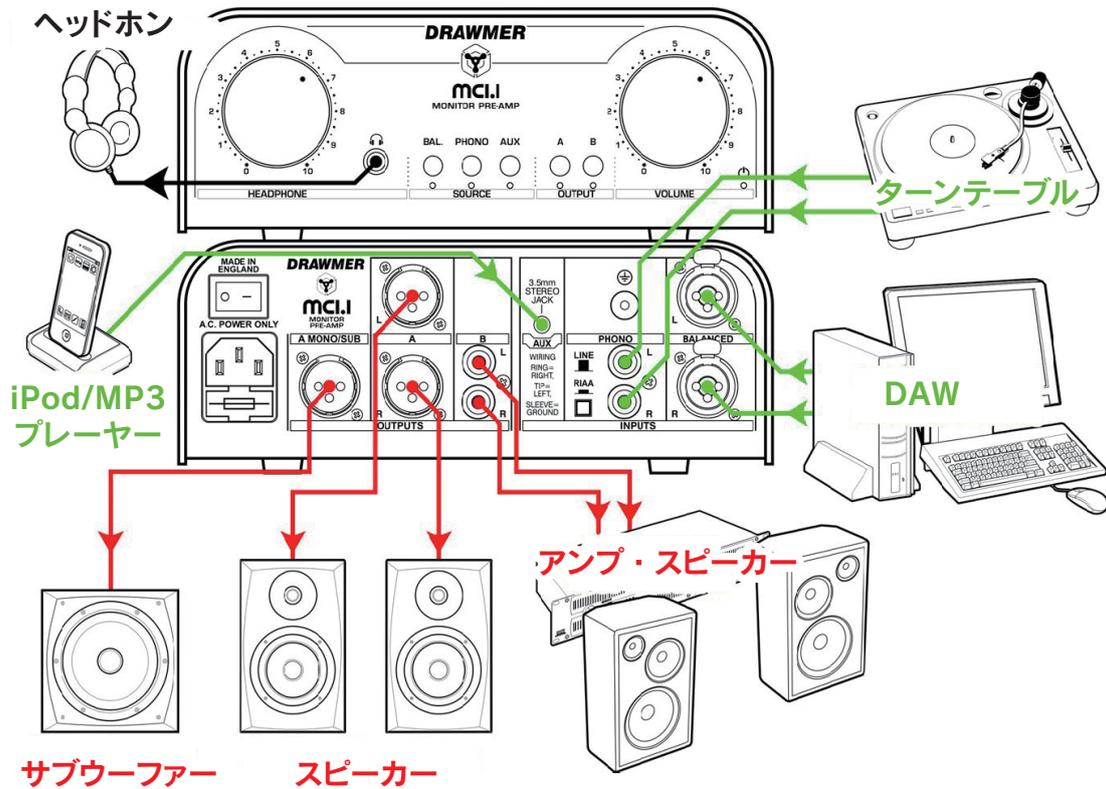


ゴム脚を固定する穴を利用してパネルに固定できます

1. パネルの上に直径4mmの穴を4つ、空けます（上面図）
2. パネルの下側から4本のネジを挿し込み、ゴム脚も含めて本製品をパネルにネジ止めして固定します

※ネジはM3、長さ（14mm + パネルの厚み）を使用してください

## 接続例



## 仕様

最大入力レベル	21 dBu
最大出力レベル	21 dBu (クリッピング前)
ダイナミックレンジ	118 dB @ ユニティゲイン
クロストーク	L/R @ 1 kHz > 85 dB以上
THD+ノイズ	0.0014 % (0 dBu 入力@ユニティゲイン)
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz +/- 0.2 dB
位相特性	20 Hz ~ 20 kHz +/- 2 度以下
本体寸法(D×W×H)	272 × 215 × 81 mm (ノブ、電源ソケット、脚を含む)
質量	2.5 kg



***DRAWMER***